

伊藤忠エネクス株式会社

(東証プライム 証券コード：8133)

2025年3月期決算及び 中期経営計画 ENEX2030 '25-'26 説明会資料

2025年4月30日

ご注意

資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り及び当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることがあり得ます。したがって、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

- ・本資料の数値について、特に断りのない場合はすべて国際会計基準（IFRS）ベースで記載しています。

- ・本資料では、下記のとおり表記を置き換えております。

「営業活動に係る利益」	⇒ 「営業利益」
-------------	----------

「当社株主に帰属する当期純利益」	⇒ 「当期純利益」
------------------	-----------

2025年3月期 決算概要

- 「**当期純利益**」は、前期差32億円増加の**171億円**となり過去最高益を更新。
2025年1月31日発表の**新通期予想155億円**に対する**達成率は110%（期初計画比127%）**。
- ホームライフ事業、電力・ユーティリティ事業等の採算改善及び産業ビジネス事業が好調に推移、前期の固定資産売却益の反動を吸収し、大幅増益を達成。

売上収益

9,245億円 (前期比△4.0%)

営業利益

269億円 (前期比+14.0%)

売上
総利益

944億円 (前期比+6.6%)

当期
純利益

171億円 (前期比+23.2%)

目次

1. 2025年3月期決算概要

- 1) 全社概要
- 2) セグメント別概要

2. 中期経営計画

- 1) ENEX2030 '23-'24レビュー
- 2) ENEX2030 '25-'26
- 3) ENEX2030 進捗状況

◇ Appendix

1. 2025年3月期決算概要

1) 全社概要

2025年3月期 決算/サマリー

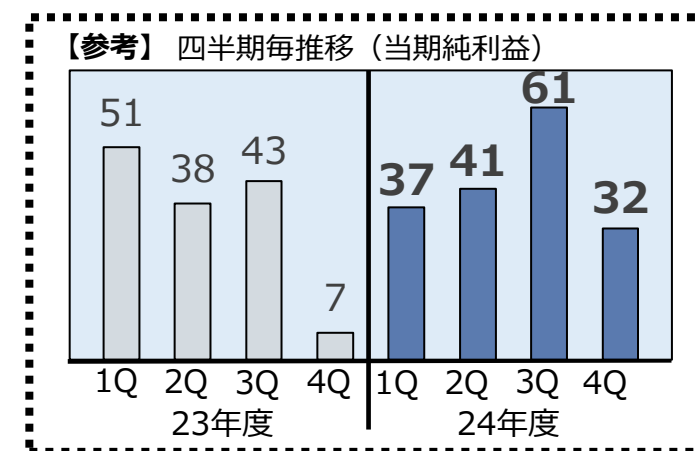
(億円)	23年度 実績	24年度 実績	増減	24年度 通期計画	達成率	24年度 新通期予想※	達成率
売上収益	9,633	9,245	△388				
売上総利益	886	944	+58				
販管費	▲702	▲706	△4				
固定資産損益	46	▲9	△55				
営業利益	236	269	+33	215	125%	250	108%
持分法による投資損益	19	18	△2				
当期純利益	139	171	+32	135	127%	155	110%

売上総利益に対する販管費率	79.3%	74.8%	△4.4 pt
---------------	-------	-------	---------

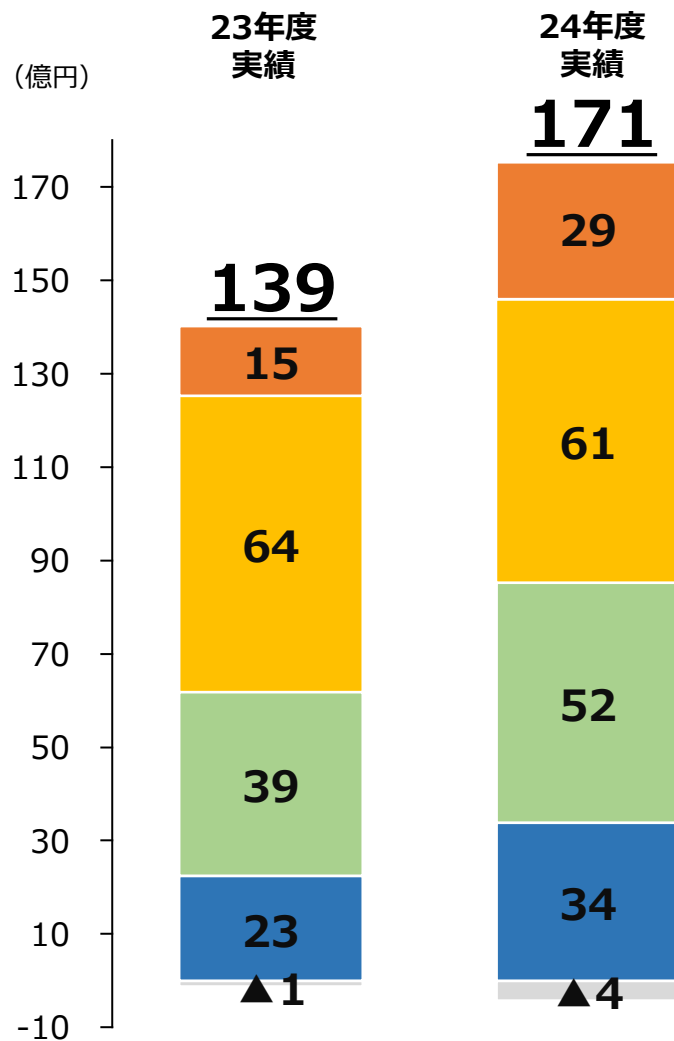
	23年度 実績	24年度 予定	増減
年間配当 (円/株)	54	62	+8

- ❑ 「当期純利益」は、前期差32億円増加の**171億円**となり過去最高益を更新。
2025年1月31日発表の新通期予想155億円に対する達成率は110%
(期初計画比127%)。
- ❑ ホームライフ事業、電力・ユーティリティ事業等の採算改善及び産業ビジネス事業が好調に推移、前期の固定資産売却益の反動を吸収し、大幅増益。
- ❑ **年間の配当金は前期実績から8円増配の62円/株となる予定。**

※2025年1月31日に開示した通期業績予想



セグメント別 当期純利益



主たる増減要因

■ ホームライフ(前期差：+14億円、計画達成率：113%)

前期における在庫単価変動の利幅へのマイナス影響の反動により増益

■ カーライフ (前期差：△3億円、計画達成率：141%)

中古車販売が貢献するも、前期のCS(※)跡地売却益の反動により減益

■ 産業ビジネス (前期差：+12億円、計画達成率：129%)

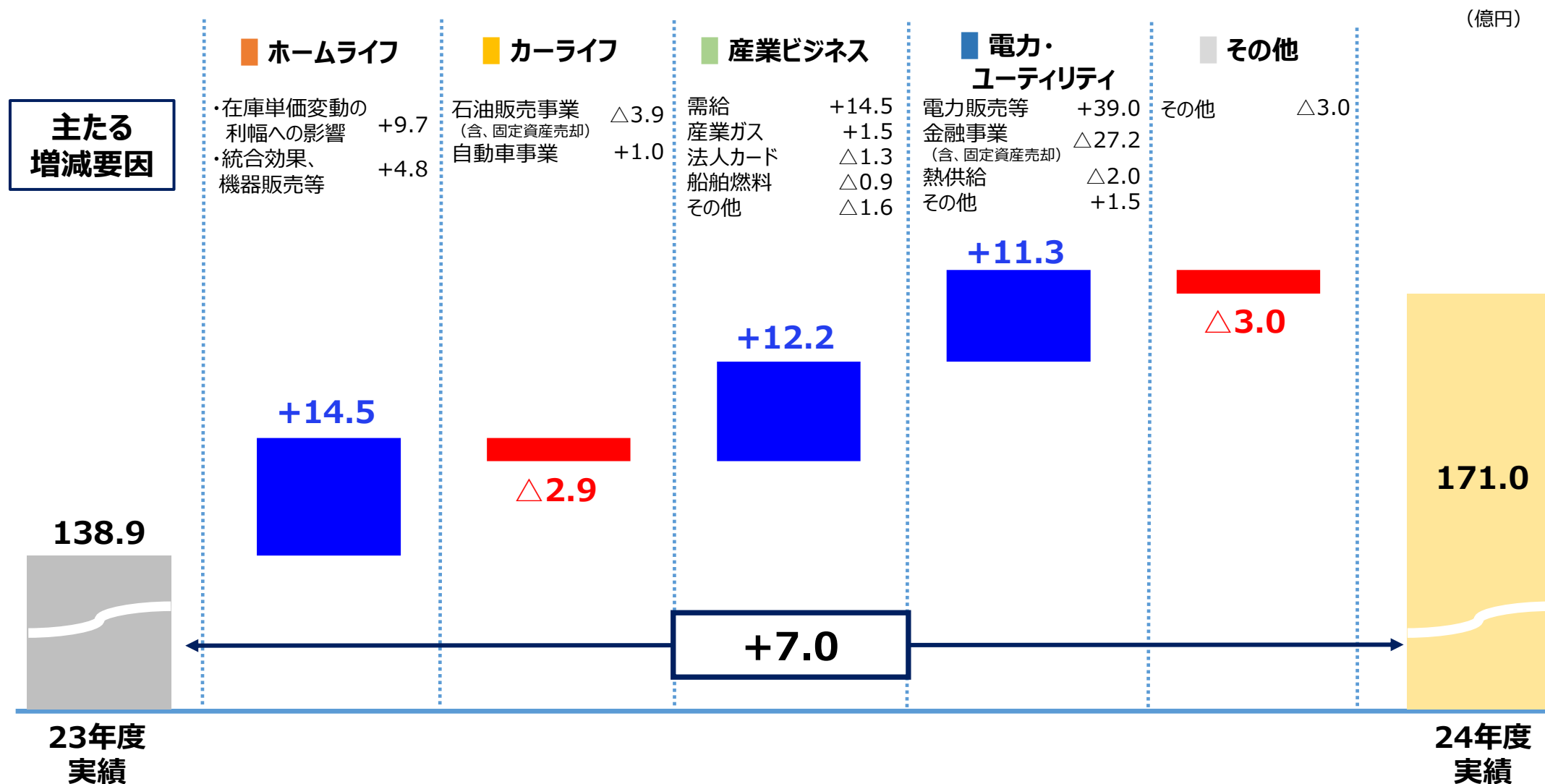
需給オペレーション及び産業ガス販売事業の好調により増益

■ 電力・ユーティリティ (前期差：+11億円、計画達成率：102%)

電力市況安定により採算が改善、前期のメガソーラー売却益の反動を吸収し増益

(※) CSとは、カーライフ・ステーションの略であり、当社が提案する複合サービス給油所

セグメント別 当期純利益分析

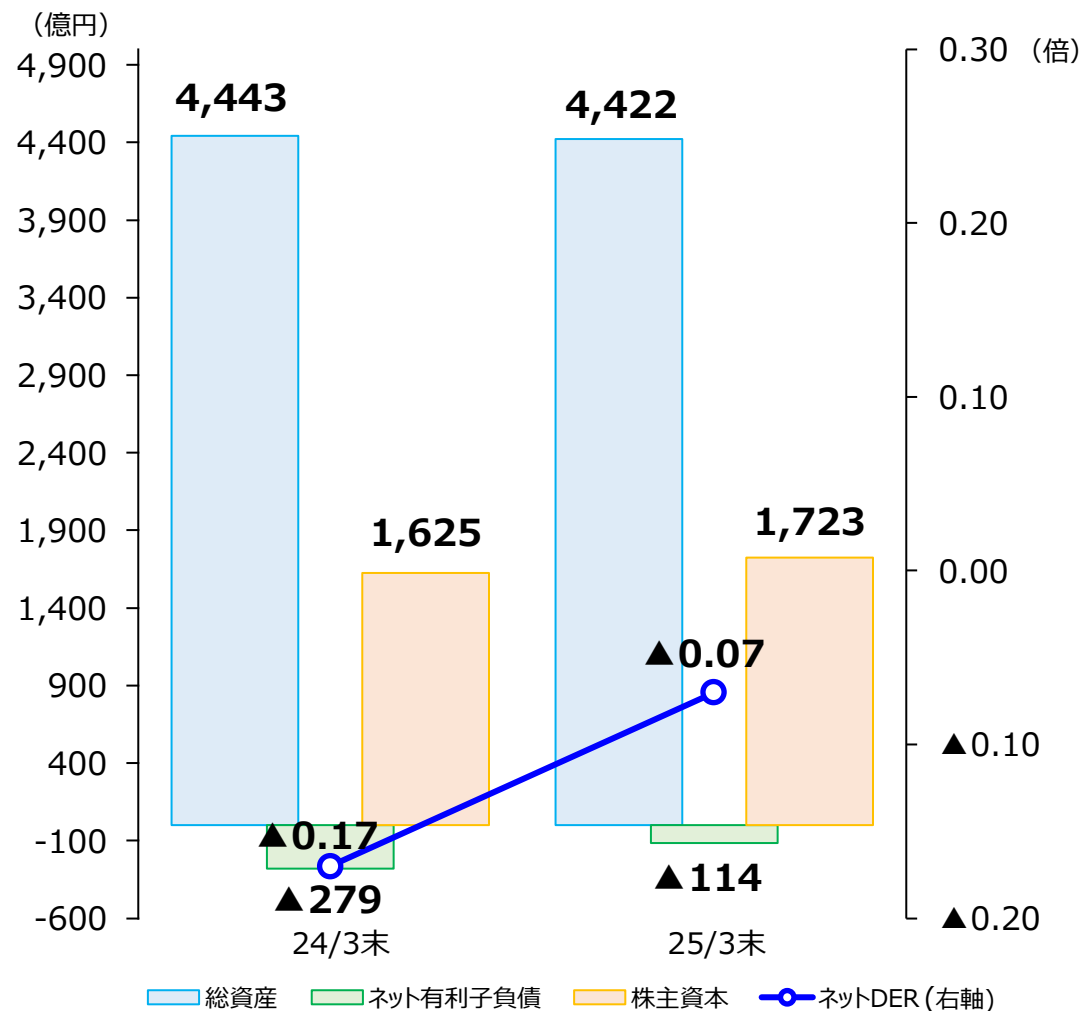


財政状態

総資産は前期末並みに推移

- **総資産** : 前期末比**22億円**減少し、**4,422億円**。
- **株主資本** : 当期純利益の積上げ等により、前期末比**97億円**増加し、**1,723億円**。
- **PBR** : 前期末比0.04 pt低下し、**1.05倍**。

(億円)	24年3月末 実績	25年3月末 実績	増減
総資産	4,443	4,422	△22
ネット有利子負債	▲279	▲114	+165
株主資本	1,625	1,723	+97
株主資本比率	36.6%	39.0%	+2.4 pt
ネットDER	▲0.17倍	▲0.07倍	+0.10 pt
PBR	1.09倍	1.05倍	△0.04 pt



キャッシュ・フロー

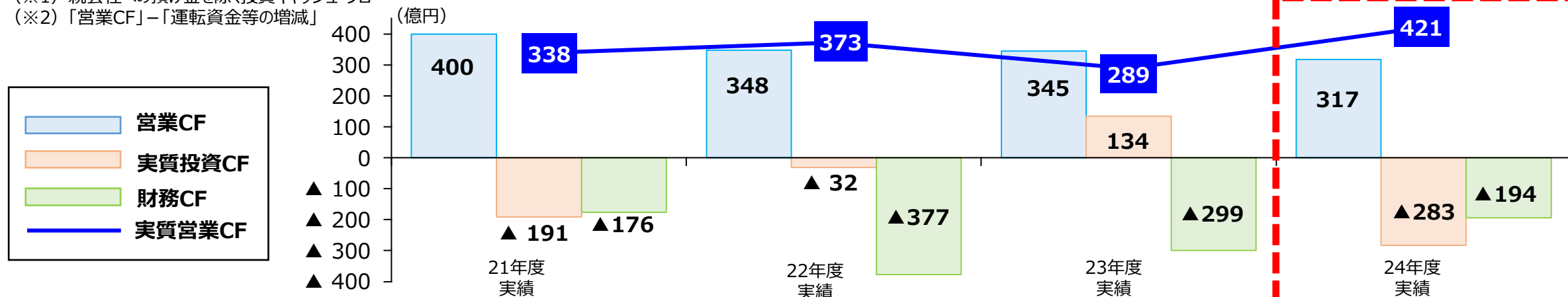
WECARS出資により投資増加、実質営業CFは順調に創出

キャッシュ・フロー (億円)	21年度 実績	22年度 実績	23年度 実績	24年度 実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	400	348	345	317
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲191	▲32	▲66	▲283
親会社への預け金	-	-	▲200	-
実質投資キャッシュ・フロー(※1)	▲191	▲32	134	▲283
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲176	▲377	▲299	▲194

実質営業キャッシュ・フロー (※2)	338	373	289	421
--------------------	-----	-----	-----	-----

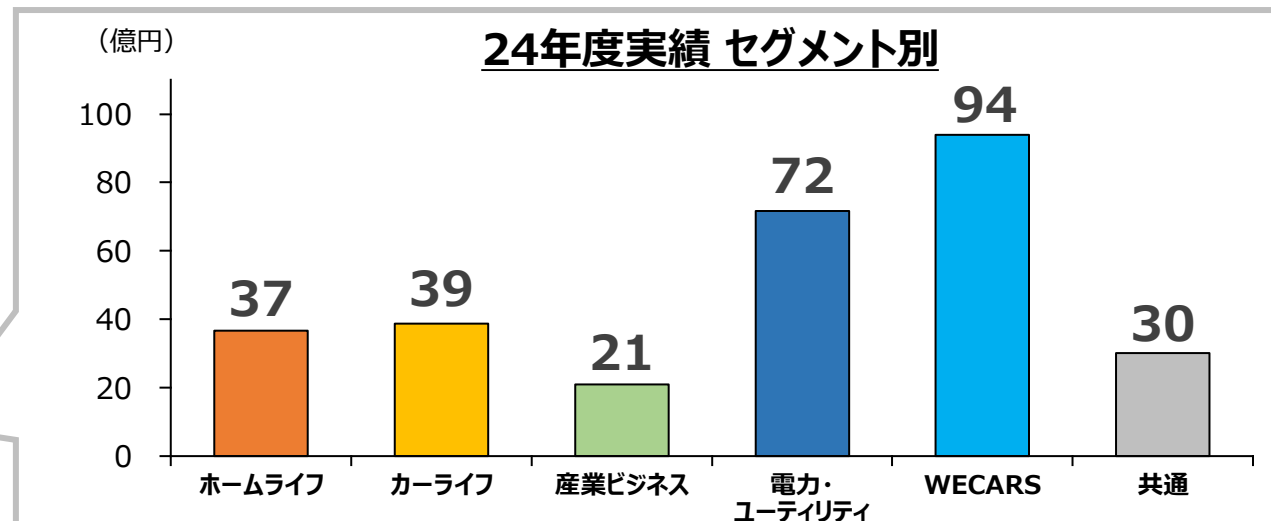
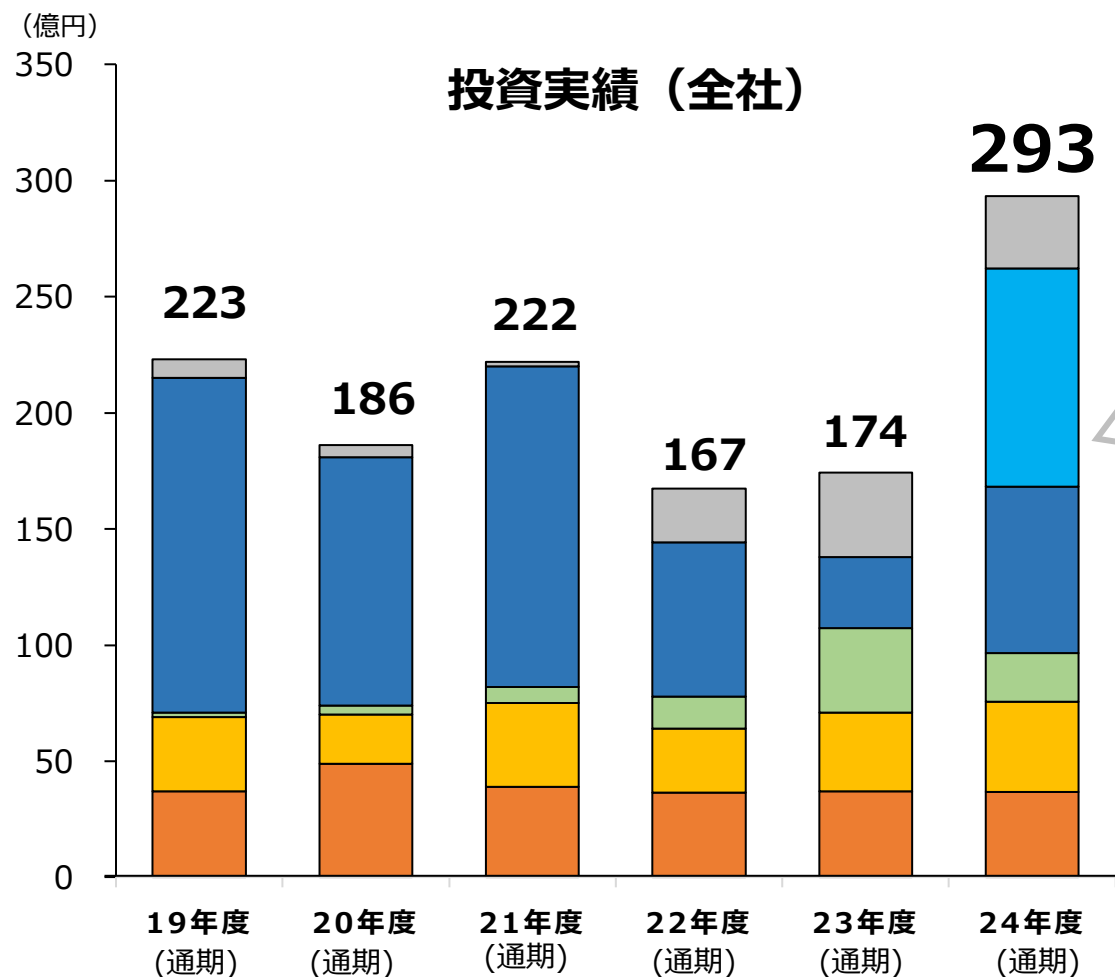
(※1) 親会社への預け金を除く投資キャッシュ・フロー

(※2) 「営業CF」-「運転資金等の増減」



投資の推移

新会社WECARS等への新規戦略投資実行



主な新規・戦略投資実績

ホームライフ	ガス営業権買収、LPWA投資（※）等
カーライフ	受発注システム開発 等
産業ビジネス	苛性ソーダタンク新設、産業ガス関連設備新設 等
電力・ユーティリティ	ENECHANGE出資、LNG火力発電増設、PV投資 等
WECARS	新会社WECARSへの資金拠出
共通	DX投資 等

（※） Low Power Wide Areaの略称であり、消費電力を抑えて遠距離通信を実現する通信方式

1. 2025年3月期決算概要

2) セグメント別概要

セグメント別業績

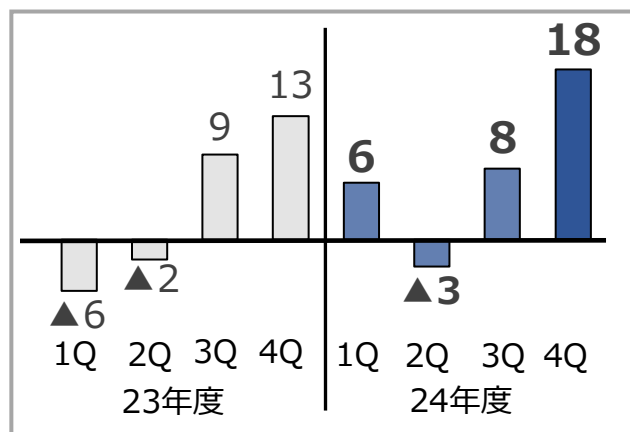
(億円)		23年度実績	24年度実績	増減	増減率%	24年度通期計画	達成率	24年度新通期予想※	達成率
■ 全社	売上収益	9,633	9,245	△388	△4.0%	—	—	—	—
	営業利益	236	269	+33	+14.0%	215	125%	250	108%
	当期純利益	139	171	+32	+23.2%	135	127%	155	110%
■ ホームライフ	売上収益	767	823	+56	+7.4%	—	—	—	—
	営業利益	15	25	+10	+70.5%	—	—	—	—
	当期純利益	15	29	+14	+97.4%	26	113%	—	—
■ カーライフ	売上収益	6,215	6,300	+84	+1.4%	—	—	—	—
	営業利益	125	115	△10	△8.3%	—	—	—	—
	当期純利益	64	61	△3	△4.5%	43	141%	—	—
■ 産業ビジネス	売上収益	1,447	1,346	△101	△7.0%	—	—	—	—
	営業利益	50	69	+18	+36.6%	—	—	—	—
	当期純利益	39	52	+12	+31.1%	40	129%	—	—
■ 電力・ユーティリティ	売上収益	1,204	776	△428	△35.6%	—	—	—	—
	営業利益	46	58	+12	+25.5%	—	—	—	—
	当期純利益	23	34	+11	+50.0%	33	102%	—	—

※2025年1月31日に開示した通期業績予想

前期における在庫単価変動の利幅へのマイナス影響の反動により増益

	23年度 実績	24年度 実績	増減	主たる増減要因	24年度 計画	達成率
売上総利益	180	188	+7	直売顧客軒数は、約575千軒と前期末から約1千軒の増加。LPガス販売数量は前期並み。 損益面は、前期における在庫単価変動の利幅へのマイナス影響の反動により増益。		
販管費	▲162	▲ 163	△1			
営業利益	15	25	+10			
持分法損益	13	18	+5			
当期純利益	15	29	+14		26	113%

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益

	23年度 実績	24年度 実績	増減
伊藤忠エネクス ホームライフ	9	9	△0
エコア (当社持分51%)	7	7	+0
エネアーク (当社持分50%)	8	12	+4

顧客軒数(千軒)

	24年 3月末	25年 3月末	増減
LPガス直売軒数	574	575	+1

販売数量

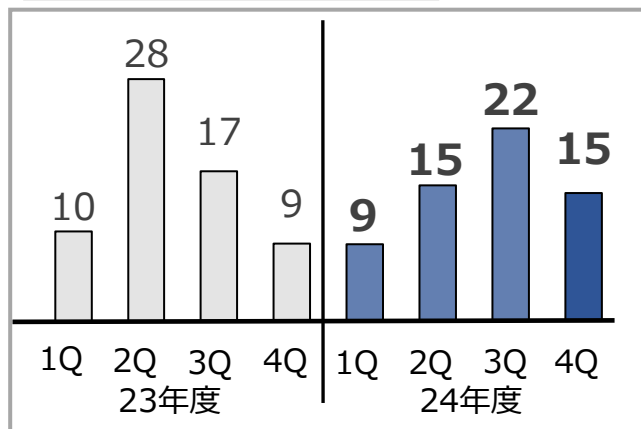
	23年度 実績	24年度 実績	増減比
LPガス(千トン)	422	416	△1%

カーライフ事業

中古車販売が貢献するも、前期におけるCS跡地売却益の反動により減益

	23年度 実績	24年度 実績	増減	主たる増減要因	24年度 計画	達成率
売上総利益	529	515	△14	CS数は前期末より20カ所減の1,546カ所。石油製品の販売数量は前期並み。自動車販売台数は、新車の販売台数が減少した一方、中古車の販売台数は増加し、全体の販売台数は前期並み。損益面は、中古車販売台数の増加及び利幅上昇があったものの、前期のCS跡地売却益の反動により減益。		
販管費	▲413	▲419	△6			
固定資産損益	7	▲3	△9			
営業利益	125	115	△10			
持分法損益	▲1	1	+2			
当期純利益	64	61	△3		43	141%

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益

	23年度 実績	24年度 実績	増減
エネクスフリート	24	29	+5
大阪カーライフグループ (当社持分51.95%)	19	20	+1

販売数量

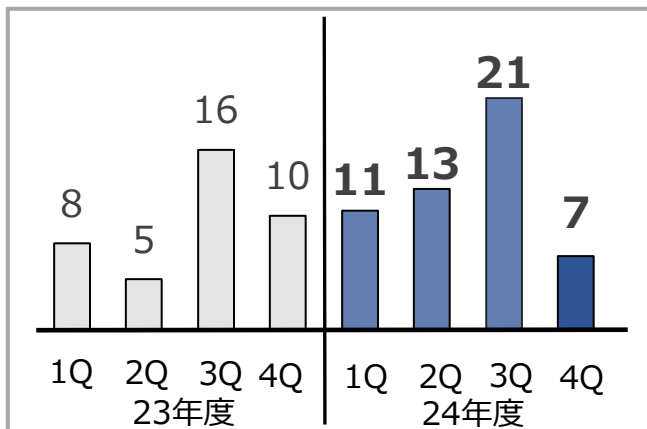
	23年度 実績	24年度 実績	増減比
ガソリン(千KL)	2,127	2,113	△1%
軽油(千KL)	2,743	2,788	+2%
新車(千台)	28	27	△3%
中古車(千台)	19	20	+6%

需給オペレーション及び産業ガス販売事業の好調により増益

(億円)

	23年度 実績	24年度 実績	増減	主たる増減要因	24年度 計画	達成率
売上総利益	113	134	+21	アスファルト販売事業は新たな商権獲得等により販売数量は前期を上回る。 船舶燃料事業は外航船向け取引の一部縮小により販売数量は前期を下回る。 損益面は、市場環境を適切に捉えたオペレーションによるものと、産業ガス販売事業が好調に推移したことにより増益。		
販管費	▲63	▲ 65	△2			
営業利益	50	69	+18			
持分法損益	5	5	△0			
当期純利益	39	52	+12		40	129%

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益

	23年度 実績	24年度 実績	増減
伊藤忠工業ガス	5	6	+1

販売数量

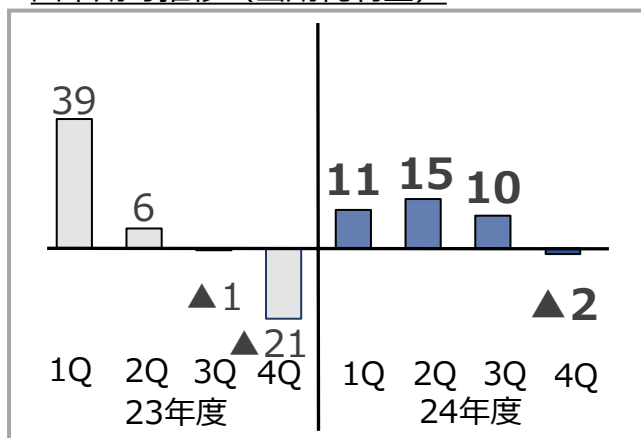
	23年度 実績	24年度 実績	増減比
重油(千KL)	1,041	845	△19%
アスファルト(千t)	287	309	+7%
産業用ガス(千t)	66	62	△5%

電力・ユーティリティ事業

市況安定により採算が改善、前期におけるメガソーラー売却益の反動を吸収し増益

	23年度実績	24年度実績	増減	主たる増減要因	24年度計画	達成率
売上総利益	64	108	+44	電力小売事業の販売数量は、低圧は需要期における電力使用量の増加により、前期を上回る。高圧も新規契約の獲得が順調に進んだことにより前期を上回る。熱供給事業の販売熱量は、前期並み。損益面は、電力市況安定により採算が改善し、前期の大規模太陽光発電所（メガソーラー）売却益の反動を吸収したことにより増益。		
販管費	▲63	▲62	+1			
固定資産損益	41	▲1	△42			
営業利益	46	58	+12			
持分法損益	2	▲2	△5			
当期純利益	23	34	+11		33	102%

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益

	23年度実績	24年度実績	増減
エネクス電力グループ	2	13	+11
エネクスライフサービス	6	9	+3
東京都市サービス (当社持分66.6%)	8	6	△2
王子・伊藤忠エネクス電力販売 (当社持分60.0%)	4	3	△0
顧客件数（千件）	24年3月末	25年3月末	増減
電力供給件数（全社計）	321	311	△11

販売数量

	23年度実績	24年度実績	増減比
電力小売（GWh）※	2,018	2,332	+16%
内訳			
高圧販売※	948	1,214	+28%
低圧販売※	1,070	1,118	+4%
蒸気(千トン)	339	329	△3%
熱供給量(TJ)	1,314	1,332	+1%

※速報値ベースでの算出、電力小売については、取次数量を含む

Appendix



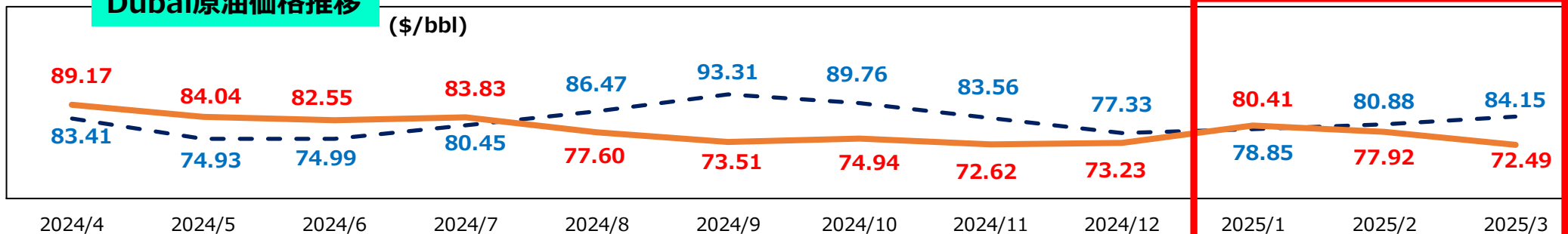
(参考) 市場動向

直近1年間のCP価格・電力価格は横ばいで推移、原油価格は下落傾向

— 直近一年 (2024.4~2025.3) - - - 前年同月

Dubai原油価格推移

(\$/bbl)



直近3ヵ月平均

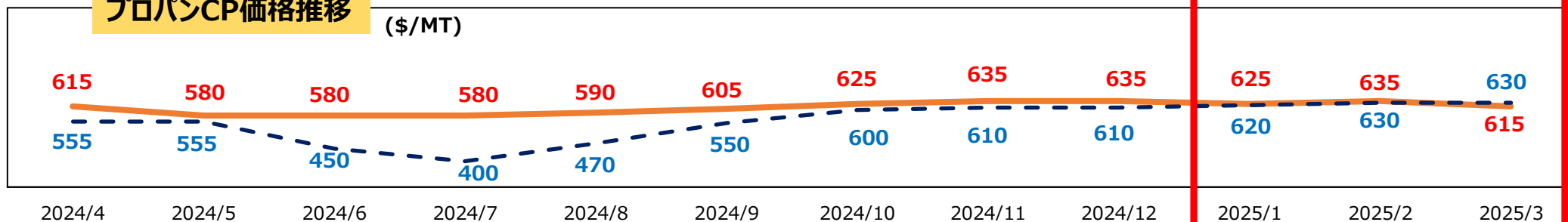
前年差 Δ 4.36

81.29

76.94

プロパンCP価格推移

(\$/MT)



直近3ヵ月平均

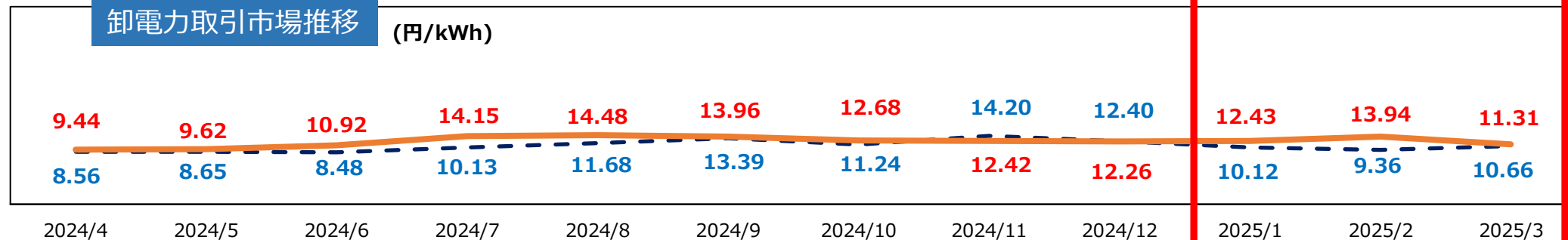
前年差 Δ 2

627

625

卸電力取引市場推移

(円/kWh)



直近3ヵ月平均

前年差 +2.51

12.5

6

10.0

5

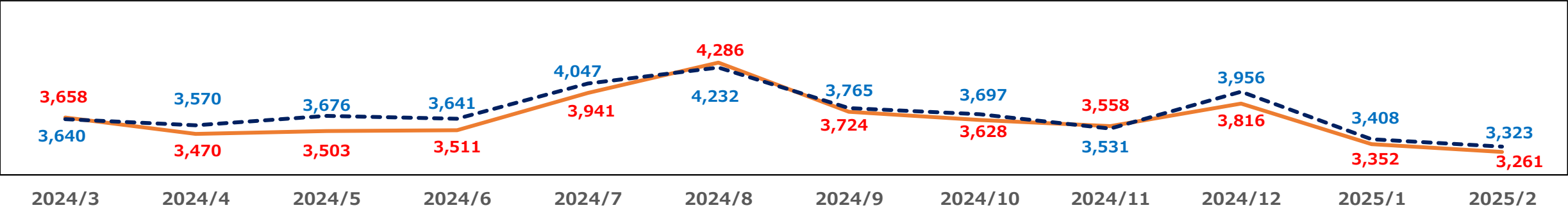


Appendix

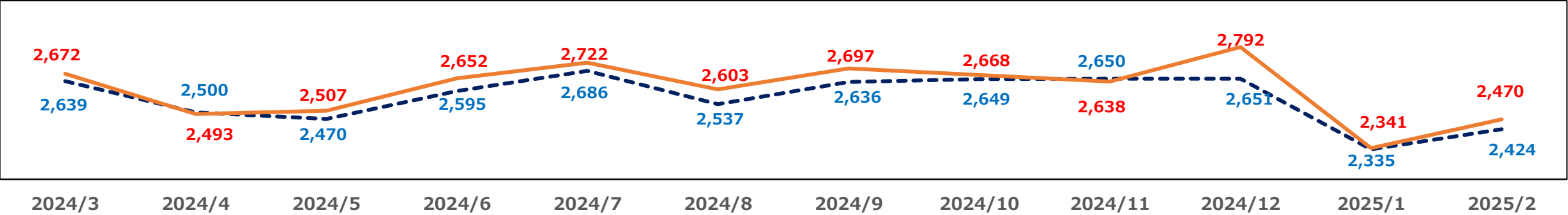
【参考】 ガソリン・軽油の国内販売状況(全国統計)

ガソリン月別販売量 単位(千kL)

直近一年 (2024.3~2025.2) 前年同月



軽油月別販売量 単位(千kL)



※ 経済産業省の統計資料を基に作成



Appendix

【参考】LPガス月別販売数量(3月～2月 全国統計)

単位(千 t)

	3月			4月			5月			6月			7月			8月		
	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減
家庭・業務用	722	727	+1%	566	616	+9%	533	515	△4%	465	437	△6%	430	444	+3%	409	364	△11%
自動車用	29	28	△3%	28	27	△2%	29	27	△8%	29	27	△6%	32	32	+0%	31	31	△2%
合計	751	755	+1%	594	644	+8%	563	542	△4%	494	464	△6%	461	476	+3%	440	395	△10%

	9月			10月			11月			12月			1月			2月			合計		
	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2024	2025	増減	2024	2025	増減	前年 年間	直近 年間	増減
家庭・業務用	393	377	△4%	471	494	+5%	595	563	△5%	778	767	△2%	756	793	+5%	743	737	△1%	6,860	6,833	+0%
自動車用	29	29	△1%	28	31	+13%	28	28	+1%	30	29	△1%	27	26	△3%	28	25	△9%	348	342	△2%
合計	423	406	△4%	498	525	+5%	623	591	△5%	808	796	△2%	783	819	+5%	771	762	△1%	7,209	7,175	+0%

※ 日本LPガス協会の統計資料を基に作成

Appendix

【参考】新車／月別販売台数(普通車・小型車、軽自動車)(4月～3月 全国統計)

単位(千台)

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減
普通・小型車	193	182	△6%	180	177	△2%	227	211	△7%	222	230	+4%	183	180	△2%	238	240	+1%
軽自動車	96	77	△20%	92	85	△8%	105	101	△4%	99	109	+10%	97	91	△6%	126	126	+0%
合計	290	259	△11%	272	261	△4%	332	312	△6%	321	339	+6%	281	271	△3%	363	366	+1%

	10月			11月			12月			1月			2月			3月			合計		
	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2023	2024	増減	2024	2025	増減	2024	2025	増減	2024	2025	増減	前年 年間	直近 年間	増減
普通・小型車	215	231	+8%	225	222	△1%	201	185	△8%	193	217	+12%	203	234	+16%	269	288	+7%	2,547	2,598	+2%
軽自動車	120	106	△11%	119	108	△9%	101	96	△5%	92	112	+21%	96	120	+26%	115	133	+15%	1,260	1,263	+0%
合計	334	338	+1%	344	331	△4%	302	280	△7%	285	328	+15%	298	355	+19%	384	421	+10%	3,807	3,861	+1%

※ 日本自動車販売協会連合会 及び 全国軽自動車協会連合会の統計資料を基に作成

2. 中期経営計画

1) ENEX2030 '23-'24レビュー

ENEX2030 '23-'24 定量レビュー

各KPIともに、概ね計画達成。当期純利益は、過去最高益を大幅に更新。
新規・戦略投資は、大型案件（WECARS）を含め、厳選して買収・資本提携等を実行。

財務指標					
	計 画	2023年度	2024年度	評 価	
当期純利益	每期 135億円	139億円	171億円	◎	✓ 2期連続で計画達成。一過性損益は、+25億円(23年度)、+14億円(24年度)を計上
実質営業CF	每期 350億円	289億円	421億円	◎	✓ 2023年度は資産売却に係る税金の支出により289億円だったが、2か年累計額は計画達成
ROE	每期 8～9%	8.8%	10.2%	◎	✓ 2期連続で計画達成
累計投資額 (2ヶ年)	600億円 (CAPEX含む)	468億円 (うちCAPEX：194億円)		○	✓ CAPEXは、投資計画を策定のうえ、着実に実行

ENEX2030 '23-'24 定量レビュー

株主還元は、2期連続の累進配当・連結配当性向40%以上となる予定。

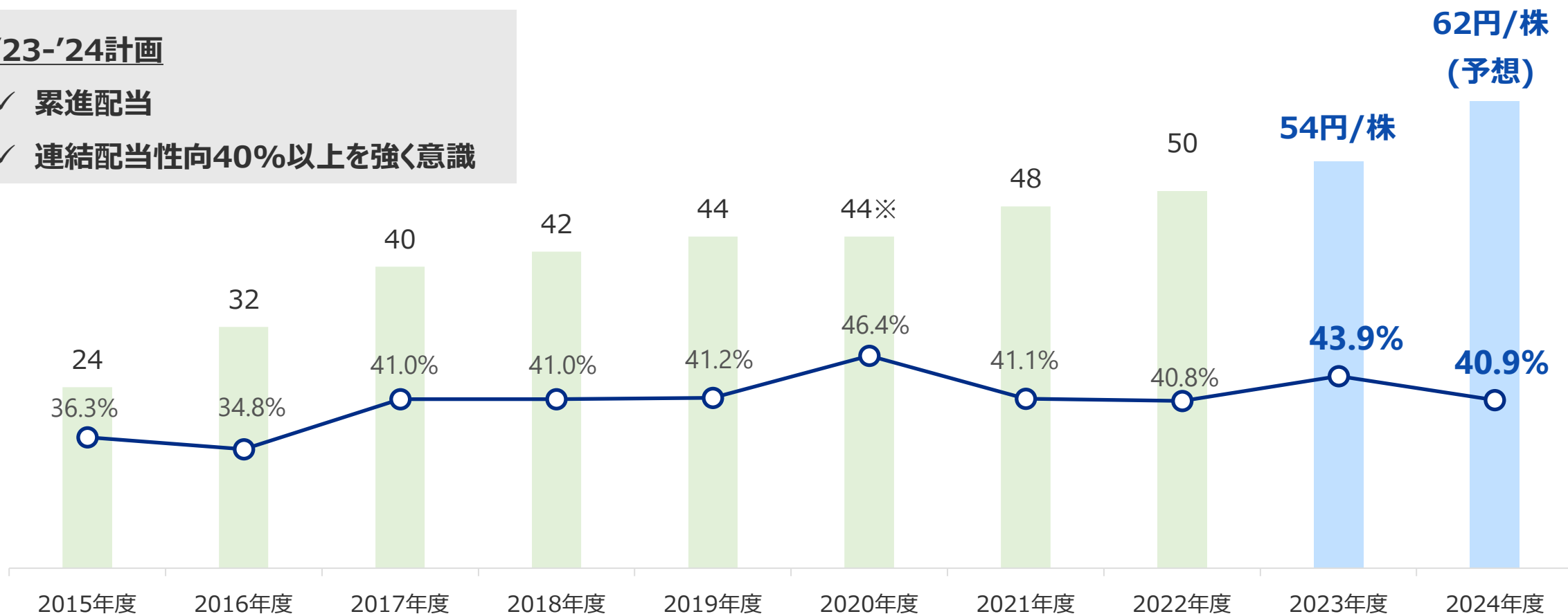
株主還元

配当政策

■ 配当金(円/株) ○ 配当性向

'23-'24計画

- ✓ 累進配当
- ✓ 連結配当性向40%以上を強く意識



※2020年度は別途、記念配当6円/株を実施（連結配当性向の数値は記念配当分を含む）

計画に沿って着実に実行。

ENEX2030の達成にむけて、引き続き、「現場力の強化」と「新規・戦略投資の実行」への注力が必要。

現場力の強化

役割の明確化と組織のスリム化

部格・課格のガイドライン策定

「権限委譲」サポート部署の新設

リスクマネジメント・事業管理部署の新設

HL事業のスピンオフ・再編

機動的な意思決定・事業推進を実現

新ERPシステムの構築

経営管理の高度化・業務の効率化

更なる権限委譲体制の推進

投資実行体制の進化

「投資戦略室」の新設

投資実行の推進・支援

新規・戦略投資の実行

WECARS、
ナルネットコミュニケーションズ、
交換できるくん、
ニチレキ、エネチェンジ

投資案件の発掘力・推進力強化

組織・人材の強化

投資研修の開催

社員の投資リテラシー強化

人事制度の改定

成果に応じた評価・表彰制度の制定

研修施設「軽井沢LABO」の開設

階層に応じた専門性の高い研修の実施

グループ連結経営の深化

成果

課題

2. 中期経営計画

2) ENEX2030 '25-'26

ENEX2030 “くらしの原動力を創る”



2024年度の基礎収益（一過性損益を除いたもの）157億円を上回る、当期純利益160億円を目指す。
配当政策は、'25-'26期間も累進配当を継続。

財務指標		
	2025年度	2026年度
当期純利益	每期 160億円	
実質営業CF	每期 380億円	
ROE	每期 9.0%程度	
新規・戦略投資	累計 500億円	

株主還元
配当政策
累進配当（2025年度予想：62円/株） 連結配当性向 40%以上を強く意識

ENEX2030 '25-'26 位置づけ

攻守にDXを活用し、現場力を強化する。新規・戦略投資の実行や投資管理の高度化により、ENEX2030達成に向けた新たな収益基盤の構築を図る。

現場力の強化

「権限委譲」の更なる推進

- ✓ 現場の意思決定迅速化による収益拡大

DXを活用した営業

- ✓ 新ERPシステム・社内版ChatGPT導入による営業の進化

グループ連結経営管理の強化

- ✓ CGコードを共通言語としてグループ会社へ浸透
- ✓ グループ連結での人材・コンプライアンスの管理強化
- ✓ 新ERPシステム導入による職能業務の効率化

新規・戦略投資の実行

新規・戦略分野

- ✓ WECARS周辺を中心としたモビリティ関連
- ✓ LPG卸・小売事業再編に向けた戦略投資
- ✓ アスファルト事業の国内市場シェア拡大
- ✓ 再生可能エネルギー関連

ポートフォリオマネジメントの推進

- ✓ 事業ポートフォリオを踏まえた投資戦略
- ✓ 低効率資産の入替
- ✓ 投資先のKPI管理強化

攻
め

守
り

2. 中期経営計画

3) ENEX2030 進捗状況

ENEX2030 主要KPI進捗状況

2030年度には、全項目の達成を目指す。

財務指標

	2030年度	2024年度
当期純利益	200億円以上	171億円
実質営業CF	450億円	421億円
ROE	9.0%以上	10.2%
新規・戦略投資	2,100億円 (2023~2030年度 累計)	274億円 (2023~2024年度 累計)

非財務指標

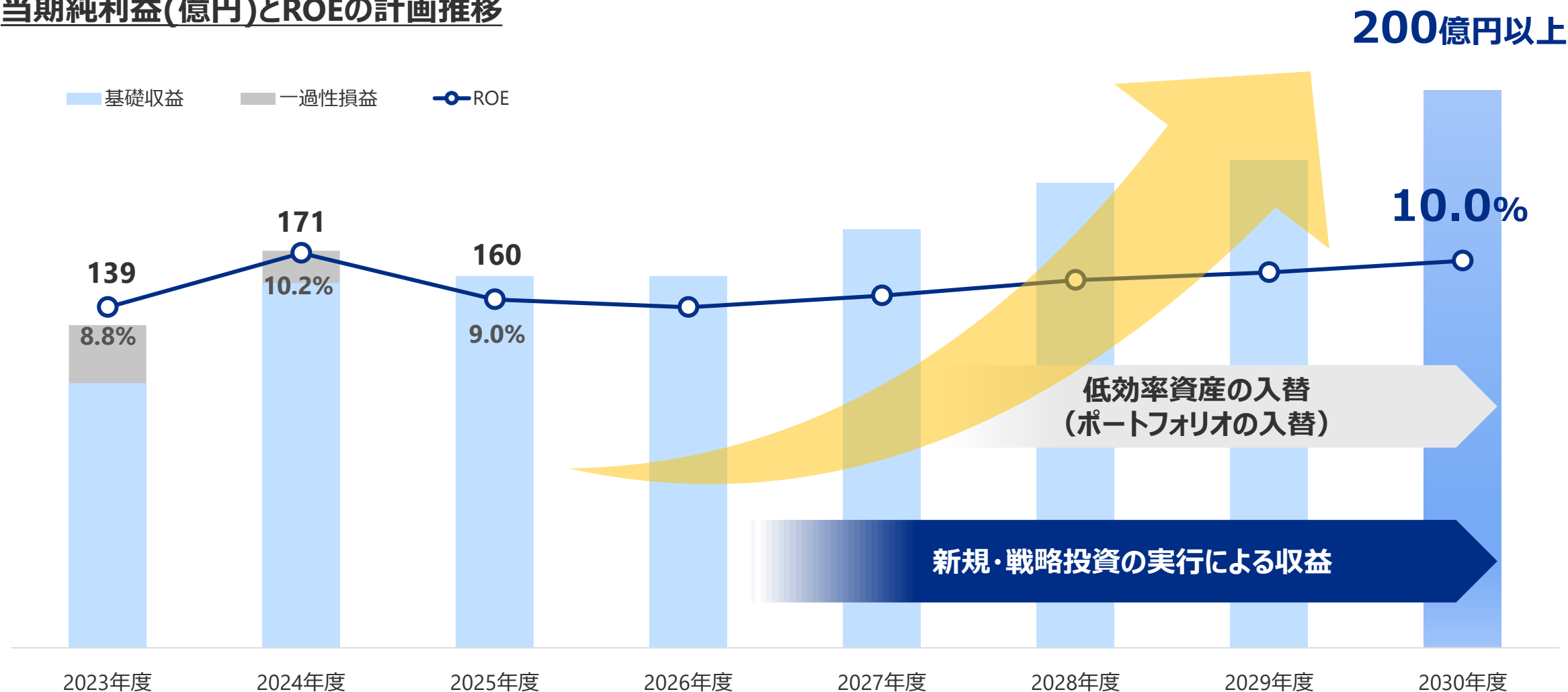
	2030年度	2024年度
GHG排出量	50%以上削減 (2018年度比 scope1.2)	40%削減 (2023年度実績※)
女性採用比率	30%以上	41%
女性管理職比率	10%	3.0%
男性育休取得率	80%以上	75%

※2024年度は集計中

ENEX2030 当期純利益とROEの推移

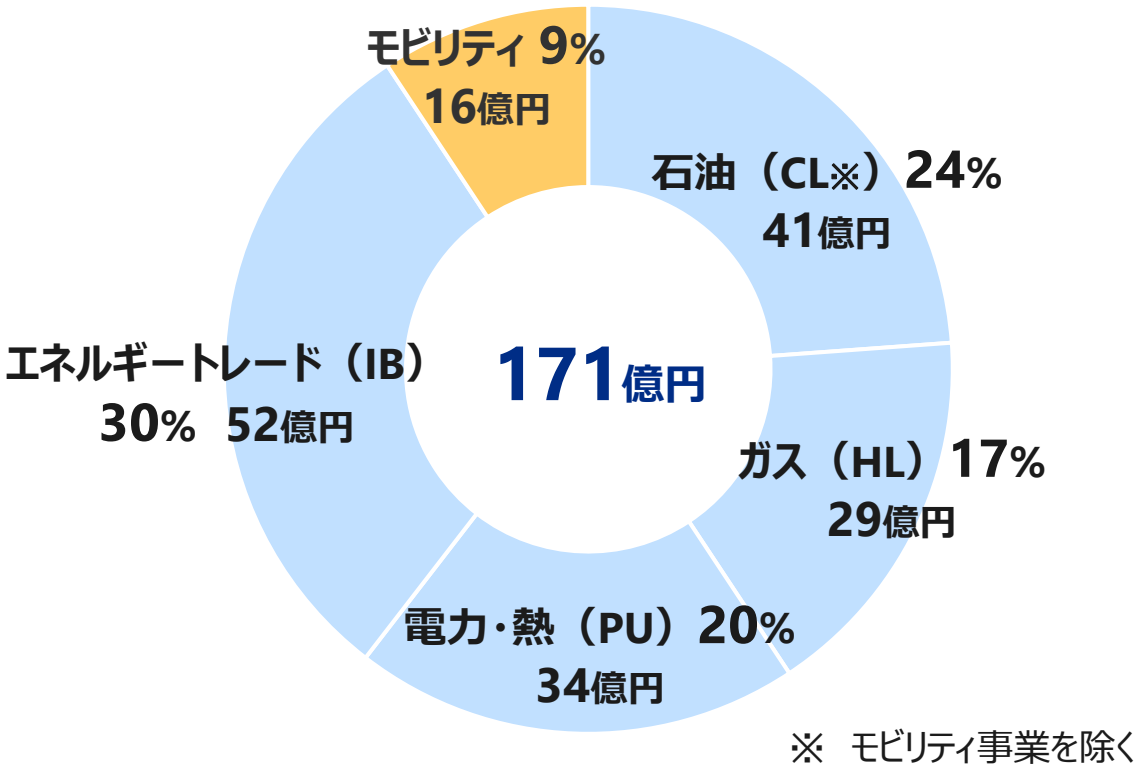
新規・戦略投資にて成長を図りつつ、低効率資産の入替を実行。長期的には、ROE10%を意識する。

当期純利益(億円)とROEの計画推移

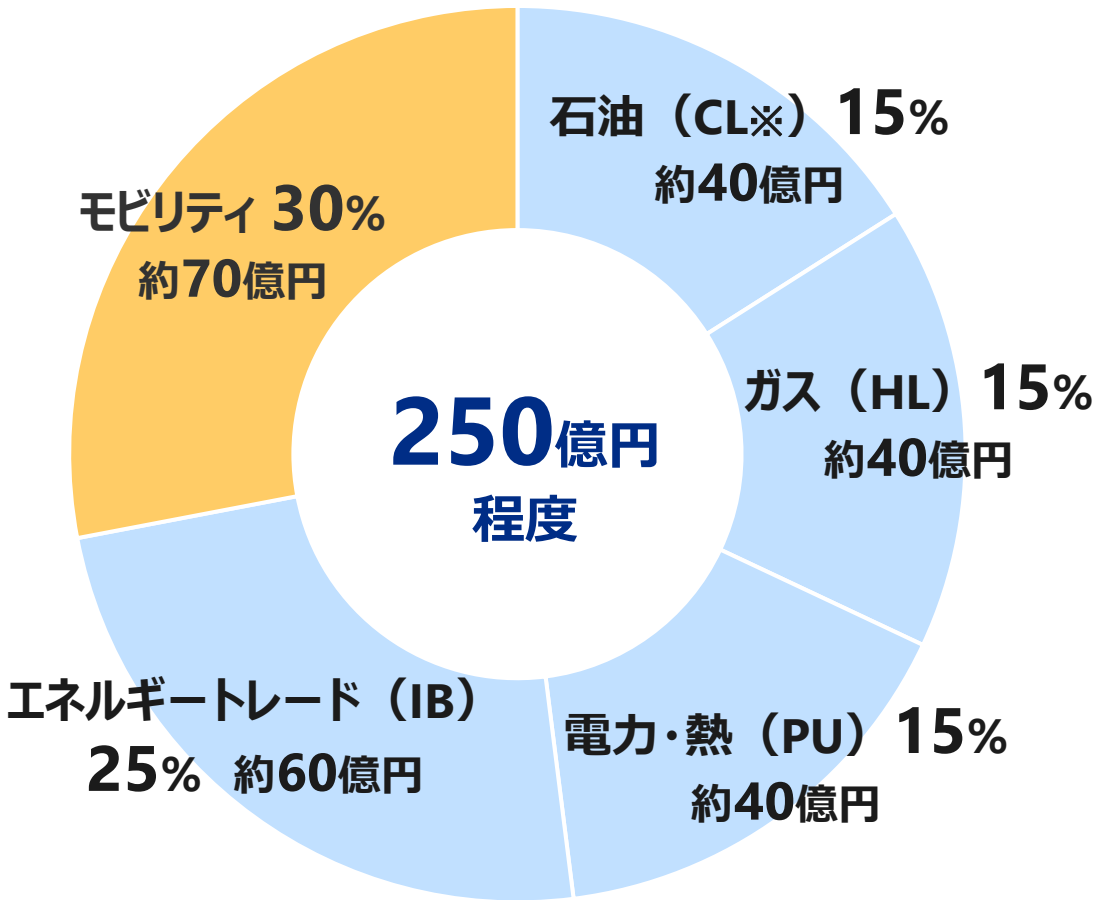


4つのエネルギー関連の**既存コア事業**を収益基盤、**モビリティ事業**を成長ドライバーと位置づけ、利益拡大を目指す。

利益構成 2024年度



利益構成 2030年度

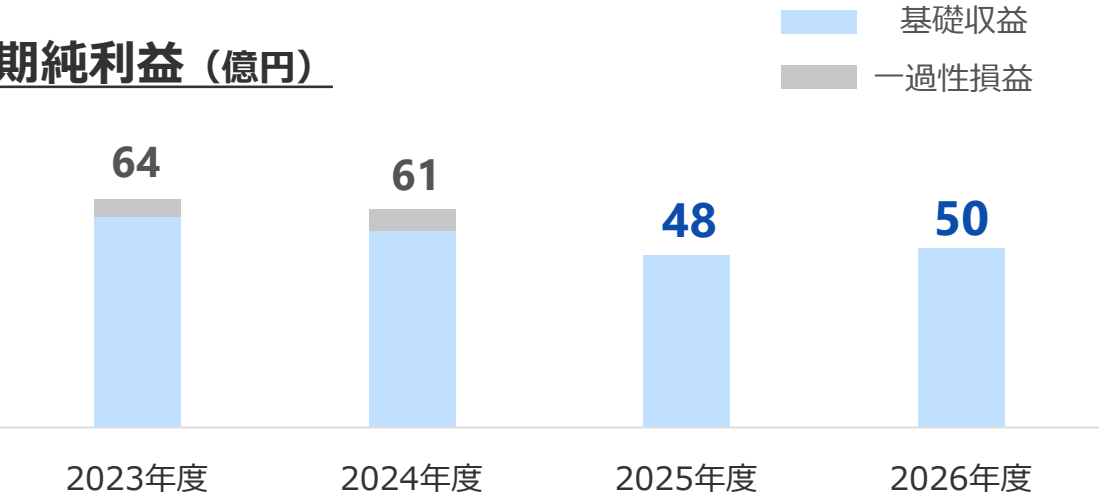


appendix

ENEX2030 '25-'26
CL事業

石油とモビリティで未来を創る BX（ビジネストランスフォーメーション）

当期純利益（億円）



新規戦略投資（億円）



主な投資対象

- ✓ モビリティ事業M&A
- ✓ デジタルECプラットフォーム

攻め

守り

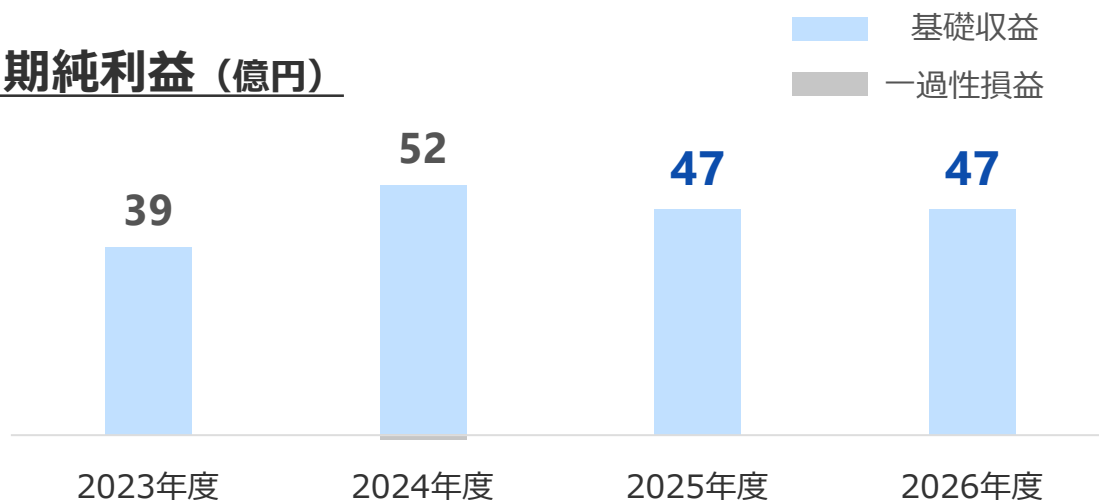
- 現場力の強化
- ✓ DX、他社とのアライアンスによる収益改革・生産性向上
 - ✓ モビリティ事業を担う人材育成の強化
- ✓ 営業店舗における保安・コンプライアンスの徹底
- ✓ 老朽化店舗の最適化（耐震対応・店舗統合）

- 新規・戦略投資の実行
- ✓ WECARSを軸とした中古車関連事業の拡大
 - ✓ デジタルでつなぐ中古車、整備ネットワークの構築
- ✓ WECARS収益拡大にむけ、POWER投入
- ✓ 変化に対応した事業ポートフォリオの構築

ENEX2030 '25-'26 IB事業

物流とDXで掴む成長の商機

当期純利益（億円）



新規戦略投資（億円）



主な投資対象

- ✓ アスファルト事業
- ✓ エネルギーサービス事業

現場力の強化

攻め

- ✓ アスファルト・船舶燃料・法人給油カードの営業DX
- ✓ アドブルー調達力強化と配送拠点の拡充

守り

- ✓ 船舶燃料の配送内製化による業務効率化
- ✓ ガス容器検査事業の規模拡大と保安強化

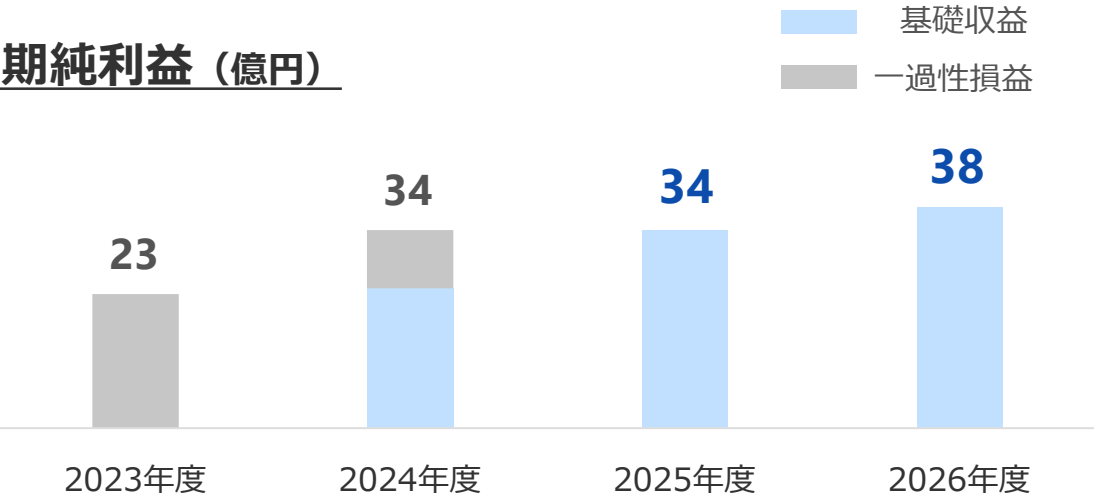
新規・戦略投資の実行

- ✓ アスファルト国内販売・物流機能No.1に向けた投資
- ✓ エネルギーサービス事業への積極投資
- ✓ 投資先の事業運営を担う人材確保・育成
- ✓ 投資先とのシナジー創出

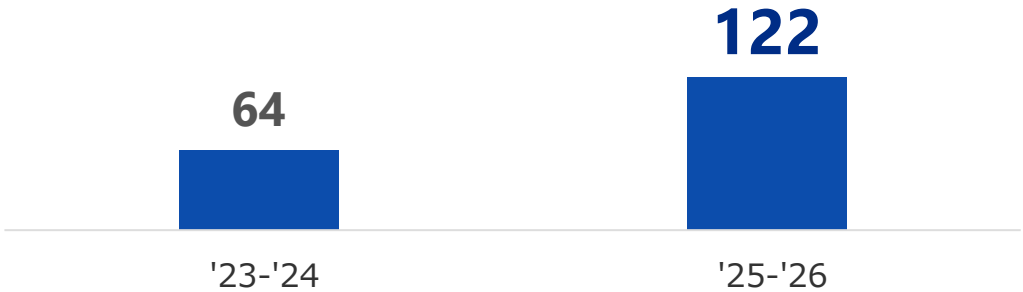
ENEX2030 '25-'26
PU事業

電力で基盤をつなぐ。環境で未来をひらく。

当期純利益（億円）



新規戦略投資（億円）



主な投資対象

- ✓ 再生可能エネルギー分野
- ✓ エネルギー×DX領域

現場力の強化

攻め

- ✓ 人とデジタルで顧客基盤を拡充、100万軒へ
- ✓ 需給調整力、O&M力を活用した電力事業の深化

守り

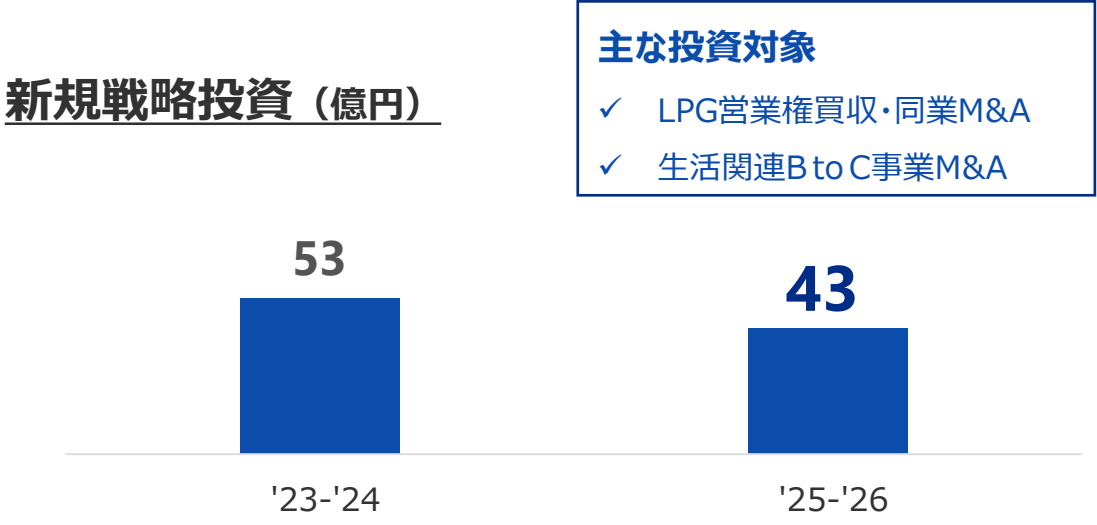
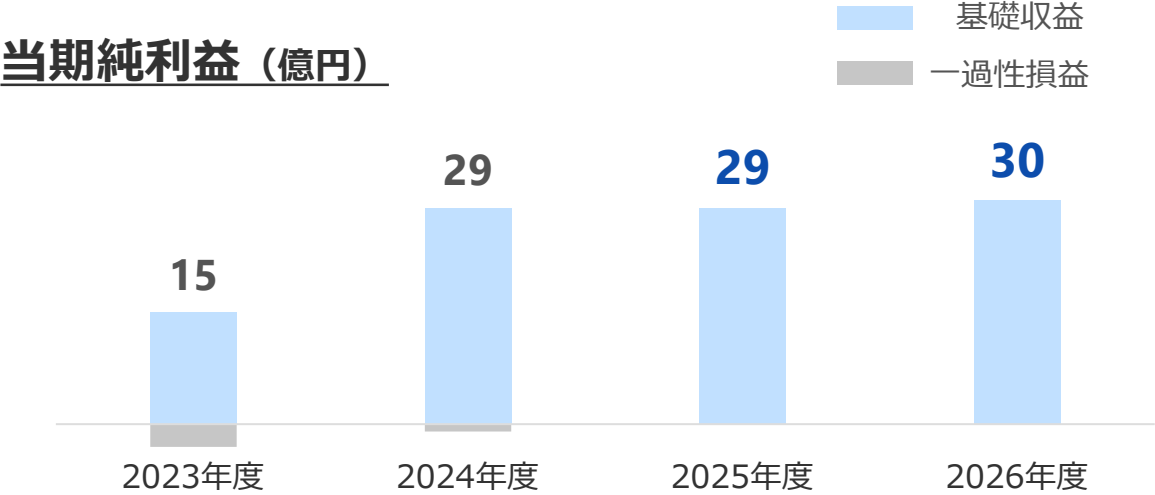
- ✓ 電源の安定調達と最適化
- ✓ 電力需給オペレーションのリスク管理体制維持強化

新規・戦略投資の実行

- ✓ 事業者/消費者向けエネルギーDXソリューションの提供
- ✓ 再生可能エネルギー領域への積極投資
- ✓ B/Sコントロールと資産効率（収益性）向上
- ✓ 各資本業務提携先とのシナジー実現

ENEX2030 '25-'26
HL事業

顧客基盤とグループネットワークの強化



攻め

現場力の強化

- ✓ 対面だけでなくDXで顧客獲得（新たな手法）
- ✓ 高機能商材の“サブスク”展開（多様な提案）

守り

- ✓ DXで“保安と物流”を強化（安心安全の提供）
- ✓ 新法準拠の料金体系と行動規範（信用信頼の向上）

新規・戦略投資の実行

- ✓ 事業再編へ向けた戦略投資（将来への布石）
- ✓ エコマース・ポイントメニューの新展開（新機軸付加）

- ✓ 大胆で緻密な投資推進体制の構築（組織力の強化）
- ✓ 提携先との飽くなきシナジー追及（アライアンス強化）

2年連続して達成し、今後も達成が見込まれる「女性採用比率」は、ENEX2030 '25-'26より主要KPIから除外。

非財務指標				
	2030年度	2023年度	2024年度	状況
GHG排出量	50%以上削減 (2018年度比 scope1.2)	40%削減	- ※集計中	✓ 自社電源の見直し等にて、排出量削減予定
女性管理職比率	10%	3.4%	3.0%	✓ 達成にむけ、女性管理職候補を育成中
男性育休取得率	80%以上	81%	75%	✓ 2023年度は達成したものの、2024年度は未達
女性採用比率	30%以上	46%	41%	✓ 2期連続達成 ✓ 今後も達成が見込まれるため、主要KPIから除外

問い合わせ先

IR・サステナビリティ推進室 担当：中村、森田
【TEL】03-4233-8025 【FAX】03-4533-0103
【E-MAIL】enex_irpr@itcenex.com